

2018年度 建設マネジメント委員会
公共調達シンポジウムの開催と事例発表・登録募集についてのお知らせ

建設マネジメント委員会（委員長 木下誠也）では、我が国の建設事業に係る公共調達のあり方について様々な観点から研究活動を行っておりますが、2009年度より、この分野の各方面で行なわれている取り組みの情報共有を図り、PDCA活動を実践する場として「公共調達シンポジウム」を開催しています。

これは、建設事業を取り巻く環境、制度が大きく変化する中で、より効果的な公共調達の実現に向けて多様な取り組みが実施されるようになってきている現状を踏まえ、それらの情報交換（事例発表等）を通じて、Good Practiceの共有、課題の把握や今後の取り組みのあり方の模索を行うなど、学会がマネジメントセンターとしての役割を果たし、改善運動の深化と拡大に寄与しようとするものです。

つきましては、2018年度の公共調達シンポジウムを下記のとおり開催することといたしますので、積極的な事例の発表・登録と多数の参加をお願いします。なお、本シンポジウムは「土木学会認定CPDプログラム」の対象となっております。

行 事 名：2018年度 建設マネジメント委員会 公共調達シンポジウム
主 催：土木学会 建設マネジメント委員会
日 時：2018年6月19日（火）10:30～17:30
場 所：土木学会講堂 新宿区四谷1丁目（外濠公園内）TEL 03-3355-3559
参 加 費：会員；4,000円，非会員；6,000円，学生・招待者；無料【学生証または招待状を提示】（資料代込み）
定 員：120名（申込先着順）

発表テーマについて：

本シンポジウムは、公共調達の実務の現場で実施されている意欲的な取り組みの事例について、それらの当事者（発注者、受注者、その他どのような立場でも可）から実施状況や実施結果を発表・登録していただき、参加者全体で意見交換することによって進めるものです。

取り扱うテーマは公共調達の全般を対象とします。これには、海外や民間調達における事例、行政機関や民間企業の組織内部での建設生産システムの改善への取り組み事例等で今後の我が国の公共調達のあり方について参考となるものを含むものとします（一般課題）。また、シンポジウムの開催毎に特に集中して意見交換する課題を設けることとします（特定課題）。

2018年度の特定課題：『マネジメントを活かした働き方改革』

（近年推進されている働き方改革を受け、国・地方公共団体・民間における現場や事務所の働き方改革に関するマネジメントの取り組みを紹介する幅広いテーマを募集します。）

発表申込について：

発表、登録していただける事例を広く募集します。意欲的な取り組みの行なわれている現場の当事者の皆様に、その概要を所定の様式に基づき 2018年5月18日（金）までに、下記の学会事務局宛にE-mailにて登録をお願いします。 所定様式は、委員会HP（<http://committees.jsce.or.jp/cmc/node/177>）よりダウンロード下さい。なお、発表事例が多数に及ぶ場合には、発表時間や発表方法に調整を行なうことをあらかじめご了承ください。発表していただいた内容は、土木学会建設マネジメント委員会の表彰規定により、表彰の対象となります。

また、シンポジウムに出席できない場合であっても、登録していただいた事例は資料に取りまとめ紹介させていただきますので、積極的に事例の登録をお願いします。

参加申込方法：土木学会HPからお申込ください。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

参加申込締切：2018年6月7日（木）

問い合わせ先：土木学会 研究事業課 建設マネジメント委員会担当：杉岡

TEL：03-3355-3559 / E-mail：sugioka@jsce.or.jp